学校番号	105

令和８年度　体育科

教科	専門体育	科目	スポーツⅡ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書							
副教材等	アクティブスポーツ[総合版]大修館書店						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業を受けるに当たっては、服装や授業の準備や後片付け、時間を守るなどのルールを守って学習して下さい。作戦や練習方法などをチームで協力して考えてもらいますので積極的に活動してください。また、全学年混合で行う授業なので、学年を超えたコミュニケーションを図り、コミュニケーション能力を育んでください。卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することができるように学習して下さい。疑問や不安なことがあれば担当者に相談して下さい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公平・協力・責任・参画などに対する意欲を高める。
【学びに向かう力、人間性等】
健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、活動を行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性などについて理解している。	記録や技能向上に挑戦する。活動の合理的な実践を通し手、各領域の特性に応じた団快適な技能を身に津ける。仲間と連携・協力して活動を楽しむ。知識を活用し、技能向上につなげる。自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に行かせる。	自らすすんで活動の楽しさや喜びを味わおうとする。健康や安全を確保して主体的に取り組もうとする。自他の技能を客観的に判断できる公正・協力・責任・参画などの態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1～3学期	球技	・ネット型 バレーボール テニス ・ゴール型 ハンドボール ・ベースボール型 ソフトボール	a: 球技の楽しさを味わうため、ルールやマナーを理解しようとすること、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとしている。不明な点や不足部分をそのままにせず、積極的に解決しようと行動している。スポーツの歴史や特性について理解を深める。ルールの理解に努める。 b: ねらいに応じて健康の保持増進や体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 球技における協調性と実践する技能を課題に応じて工夫している。自己課題を把握し、適切な目標設定を行い課題解決に取り組もうとしている。	観察 ワークシート ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題	観察 ワークシート ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題	観察 ワークシート ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度